# **PRESS RELEASE**



令和3年11月17日

報道機関 各位

国立大学法人長崎大学と福島県双葉町との包括連携協定締結について

#### 1. 双葉町のこれまでの状況

双葉町は、平成23年3月11日の東日本大震災と、東京電力福島第一原子力発電所 事故によって、地震、津波、原子力災害という3つの災害を同時に体験し、全町避難を 余儀なくされました。

事故後、双葉町は除染をはじめとする復旧作業を着実に行い、原発事故から9年が経過する令和2年に避難指示解除準備区域および、JR 常磐線双葉駅周辺の帰還困難区域の一部の避難指示を解除しました。町は現在、本格復興のスタートをきるための基盤づくりを進めており、その中でも放射線量の検査などによる安全・安心の担保が重要な課題となっています。

#### 2. 長崎大学のこれまでの活動

長崎大学は平成25年に川内村、平成28年に富岡町、令和2年に大熊町と包括連携協定を締結し、それぞれ村内、町内に拠点(サテライトオフィス)を設置して保健師・看護師、薬剤師等を交代で派遣し、住民の外部被ばく線量や内部被ばく線量の測定・評価から、それらの測定結果をもとにした、個々人の状況に合わせたリスクコミュニケーション活動を行ってきました。さらに本年10月からは、大熊町に臨床心理士が本学の助教として常駐し、復興支援活動を加速化させています。以上のような活動は、「住民、行政と専門家が一体となった原子力災害からの復興モデルケース」として、国内外から評価されています。さらに平成26年5月には福島未来創造支援研究センターを創設し、全学を挙げて福島復興と再生に向けた様々な取り組みを実施しています。

#### 3. 協定締結後の活動

今後、双葉町が住民の帰還を進めるなかで、長崎大学がこれまで川内村、富岡町、大 熊町で培ってきた経験を活かし、専門的観点から双葉町の復興と活性化に資するため、 双葉町と長崎大学が緊密な連携・協力を図ることを目的とする協定を締結し、双葉町 役場内に長崎大学サテライトオフィスを設置します。また、長崎大学と双葉町が連携・ 協力し、「環境放射能評価や個人被ばく線量の測定を通じた、外部被ばく線量の評価」、

「食品等の放射性物質測定を通じた、内部被ばく線量の評価」、「それらの評価を基に した健康相談や講演活動等を通じた住民の健康管理、安全・安心の担保」などに取り 組むことにしています。

### 4. 締結式について

①実施日時:令和3年12月1日(水)午後1時00分~午後1時30分

②実施場所:東日本大震災・原子力災害伝承館 研修室1

(福島県双葉郡双葉町大字中野字高田 39)

③締結者 : 長崎大学 学長 河野 茂(こうの しげる)

双葉町 町長 伊澤 史朗(いざわ しろう)

※締結式の取材を希望されるメディアの方は、会場準備の都合上、前日までにご連絡くだ さい。

# 5. 出席者

# 長崎大学

長崎大学 学長 河野 茂長崎大学 原爆後障害医療研究所 教授 高村 昇長崎大学 原爆後障害医療研究所 助教 松永 妃都美

·長崎大学 原爆後障害医療研究所 助教 柏崎 佑哉

•長崎大学 政策企画部政策企画課秘書班 班長 村上 陽介

# 双葉町

町長
副町長
議会 議長
議会 副議長
伊澤 史朗
徳永 修宏
伊藤 哲雄
高萩 文孝

## 【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学:原爆後障害医療研究所 教授 高村 昇

電話: 095-819-7170 FAX: 095-819-7172

E-mail: takamura@nagasaki-u.ac. ip

双葉町 : いわき事務所 健康福祉課

電話: 0246-84-5205

FAX : 0246-84-5213

E-mail: kenko@town.futaba.fukushima.jp

# 国立大学法人長崎大学と双葉町との包括連携に関する協定締結式次第

〇日 時:令和3年12月1日(水)午後1時00分 〇場 所:東日本大震災・原子力災害伝承館 研修室

進行: 双葉町 健康福祉課長 髙橋秀行

- 1. 開 式
- 2. 出席者紹介
- 3. あいさつ

双葉町長伊澤 史朗長崎大学学長河野 茂双葉町議会議長伊藤 哲雄

- 4. 協定書署名
- 5. 長崎大学・双葉町復興推進拠点看板贈呈
- 6. 閉 式

(閉式後に記念撮影)